



# 西小だより

11月号  
3・11・4

・考える子  
・やさしい子  
・つよい子  
・はたらく子



## 「自分を大切に、他の人も大切に」

校長 淵上 こそえ

金木犀がオレンジ色の花を満開にして芳香を漂わせ、秋の深まりを感じさせてくれます。

さて、10月11日(月)の人権教育参観日には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、授業を参観してのご感想・ご意見を寄せていただきまして、本当にありがとうございました。お寄せいただいたご感想・ご意見を私も全て読ませていただき、保護者の皆様が子ども達同様、真剣に人権について考えてくださったり、授業の内容についてご家庭でもお子さんと話して下さったりしたことを知り、大変嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

「学校における人権教育：文部科学省」には、『学校における人権教育の目標は、一人ひとりの児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での「具体的な態度や行動」に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすること』と示されています。また、学校では教育活動全体を通じて、以下のような力や技能などをバランスよく培うことが求められています。

- 1 他人の立場に立って、その人に必要なことや、その人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、共感的に理解する力
- 2 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能
- 3 自分の要求を一方的に主張するのではなく、建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力、及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだして、それを実現させる能力やそのための技能

つまりは、「自分を大切にし、自分と同じように他の人も大切に」気持ちを持ち、「態度や行動に現していく」ということだと思います。また、そのためにはどうすればよいのかを教え、スキルや技能を身に付けさせていくことが必要であるということだと思います。

「自分を大切に」するとは「自分自身をかわいがり甘やかす」ということではありません。色々な考え方がありますが、その一つは「自分自身をよりよくしていく」ということではないでしょうか。向上心を持ち、勉強をすれば「より分かるように、よりできるように」、スポーツをすれば「より強く、より速く」、生活面では「より優しく、より健康に」・・・、自分の夢や願いを叶えるためにしっかりと考え、判断し、実行していくことだと思います。

「他人を大切に」するとは、まずは家族、友達、地域の方、学校の先生など自分の周りにいる人のことを考えることだと思います。どんなに自分のことが大切でも、周り人はどうでもよいわけではありません。周りの人の気持ちを想像したり、その人の立場に立って考えたりすることが、とても重要です。周りの人のことを思いやり、気を配っていくからこそ、自分も生かされ、さらに成長していけるのだと思います。また、当たり前のことですが田布施西小学校でも「いじめや差別は絶対にしない、させない、見過ごさない」という姿勢で臨みます。

「自分を大切にすること、他人を大切にすること」と併せて「自分の命も、他人の命も大切にすること」を忘れてはなりません。子ども達の口から「死ぬ」とか「殺す」という言葉を聞くことがあります。もし自分がその言葉を浴びせた人が本当に亡くなってしまったらどうするのでしょうか。現実の世界では、ゲームと違って二度とその人が生き返ることはありません。その人の未来を奪った重大な責任を、その人のお家の方の深い悲しみをしっかりと考え、想像しなければいけません。

自分の命も他人の命も、かけがえのない一つきりの命です。私達はせっかく授かった自他の命を大切にしながら、精いっぱい生きていかなければならないと思います。

学校では、道徳の学習だけでなく色々な活動の中で粘り強く指導したり、呼びかけたりしてまいります。どうぞご家庭でも、日常の様々な機会をとらえてお子さんへのお声掛けをお願いいたします。

